

年次報告2024

「もしも」のときに学業継続を支える
CO・OP学生総合共済

大学生の 病気・ケガ・事故

CO・OP学生総合共済
学生賠償責任保険
就学費用保障保険

共済金・
保険金
支払状況

2024

年次報告2024について

分析対象

- ◆CO・OP学生総合共済における共済金支払いデータ
- ◆学生賠償責任保険と就学費用保障保険における保険金支払いデータ
- ◆学生賠償責任保険 示談交渉サービス利用状況
- ◆学生総合共済加入者及びその保護者から学生生活無料健康相談テレホンに寄せられた相談内容

対象期間

- ◆CO・OP学生総合共済

期間:2024年3月21日～2025年3月20日

- ◆学生賠償責任保険と就学費用保障保険及び学生生活無料健康相談テレホン

期間:2024年4月1日～2025年3月31日

分析目的

共済金や保険金の支払い状況及び学生生活無料健康相談テレホンに寄せられた相談内容の傾向を明らかにし、学生生活でのリスクとそのそなえについて考察を行う。

その他

- ・記載の学年は共済金／保険金請求時またはテレホン相談時の学年です。
- ・金額、割合は表記以下を四捨五入しているため、合計と一致しない場合があります。

目次

1 大学生協の保障制度 保障内容の概要	P. 2
2 学生の病気の傾向(CO・OP学生総合共済)	P. 3
3 学生のケガと死亡の傾向(CO・OP学生総合共済)	P. 4
4 学生の賠償事故全体の傾向(学生賠償責任保険)	P. 5
5 学生の住まいの賠償事故の傾向(学生賠償責任保険)	P. 6
6 学生の自転車による賠償事故の傾向(学生賠償責任保険)	P. 7
7 父母・扶養者に関する保障(CO・OP学生総合共済／就学費用保障保険)	P. 8
8 学生生活無料健康相談テレホン(からだの健康相談・こころの健康相談・くらしの相談)	P. 9
9 大学生協の保障制度 支払一覧	P.13
10 加入者数と支払件数の推移	P.14
11 共済金の支払いを受けた学生の声	P.15

1 大学生協の保障制度 保障内容の概要

学生生活を24時間、365日バックアップしています。

学生総合共済の保障内容

※このページに掲載の保障内容は2025年3月時点のものです。

・保障内容の説明を省略している箇所があります。

・保障内容の詳細は、最新年度の「大学生協版 CO・OP学生総合共済」パンフレットをご参照ください。

CO・OP 学生 総合共済 <small>G1200コース</small>	病気・ケガ	入院	1日目から360日分	日額 10,000円
		長期入院	270日以上連続した入院(1回の入院について1回のみ)	60万円
		手術	共済事業規約に定める支払い対象手術を受けた場合	1回の手術につき 50,000円
		学業復帰支援臨時費用	重度後遺障害を負って復学した場合	共済期間(1年)につき1回 100万円
		重度後遺障害※1	*障害の程度に応じて金額が変わります	最高 600万円
	ケガ	通院	1日目から90日分(固定具保障を含みます) 固定具を装着した場合、10日分の通院があつたものとみなします。	日額 2,000円 (固定具保障) 1事故につき 定額 20,000円
		事故後遺障害	*障害の程度に応じて金額が変わります	最高 600万円
	こころ	こころの早期対応保障	精神疾患の診療を受けたとき	共済期間(1年)につき1回 10,000円
	本人の死亡	死亡	学生本人が死亡した場合(病気・事故問わず)	100万円
		事故死亡	学生本人が事故により死亡した場合(事故日から2年以内)	上記にプラス 50万円
	親扶養者の死亡	親扶養者死亡・親扶養者重度障害※2		50万円
		扶養者事故死亡・扶養者事故重度障害※2		500万円

※1 労働者災害補償保険法施行規則の障害等級表の1級、2級、3級の状態。 ※2 労働者災害補償保険法施行規則の障害等級表の1級、2級、3級の②③④の状態。

(学生総合共済加入者全員対象)

ストーカー被害見舞金

被共済者が日本国内におけるストーカー被害について警察に届け出をし、被害拡大を予防する対策(建交換や引っ越し等)をしている等、所定の条件を満たす場合にお支払いする見舞金です。

共済期間(1年)につき1回のみ **5万円**

+ あわせておすすめする保険 +

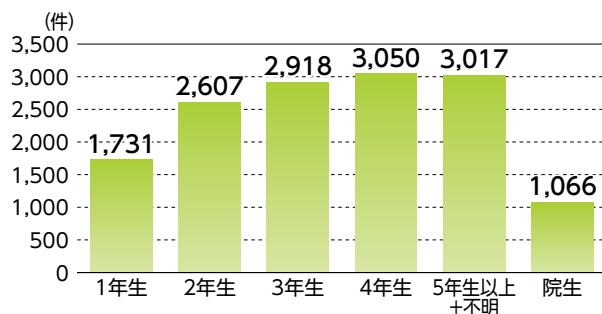
学生賠償責任保険 一人暮らし特約なし <small>19H</small> <small><引受保険会社:三井住友海上火災保険株式会社(幹事)></small>	●個人賠償責任保障		1事故 最高 3億円まで
	日常生活での他人に対する賠償責任を保障(国内・国外) (正課の講義・アルバイト・インターンシップ等を含む)		※情報機器等の記録情報の事故は500万円を限度とします。 ※示談交渉サービス付(国内のみ)
	●正課の講義等での「人格権侵害賠償責任保障」「感染事故損害防止費用保障」		年間最高 それぞれ 500万円まで
	●傷害見舞費用保障(右記は死亡見舞費用保険金の場合であり、費用の種類によって)		被害者1名につき最高 50万円まで
	●後遺障害保障		最高 10万円まで
学生賠償責任保険 一人暮らし特約あり <small>19HK</small> <small>上記(19H)の保障すべてと 一人暮らしをする上での 住まいの火災などの保障 <引受保険会社:三井住友海上火災保険株式会社(幹事)></small>	●借家人賠償責任保障		1事故最高 1,000万円まで (示談交渉サービス付)
	被保険者の過失により、借用住宅が損壊し、貸主(大家)に対する法律上の賠償責任を負った場合を保障		
	●家財保障	家財保障	1事故最高 200万円まで
		破損・汚損保障	1事故最高 50万円まで (免責金額1万円)
		家財・自転車盗難保障	1事故最高 50万円まで
		現金盗難保障	1敷地につき 10万円まで
		臨時費用	損害保険金の 10% (1事故1敷地ごとに最高20万円まで)
	●修理費用 保障	借用住宅修理費用保障	1事故最高 15万円まで
		水道管修理費用保障	1事故1敷地ごとに最高 10万円まで
	●父母駆けつけ費用保障(救援者費用)	ケガや病気のため、3日以上続けて入院した場合や、事故により生死が確認できない場合等に、親族が現地に駆けつけるために支出した交通費・宿泊費等を保障	10万円まで
就学費用保障保険 <small>19W</small> <small><引受保険会社:東京海上日動火災保険株式会社(幹事)> 最大15口まで加入できます</small>	●扶養者が病気やケガで死亡または、ケガで重度後遺障害がいを負った結果、学生が扶養されなくなった場合の学資費用をサポート		(1口加入の場合) 年間 25万円限度 ※定期代・家賃は口数によらず合算で年間10万円まで
	●学生本人がケガで後遺障害を負ったときの保障		(1口加入の場合) 1事故 10万円限度 ※後遺障害の程度に応じて金額が決まります

●学生賠償責任保険(学生・子ども総合保険、施設・生産物賠償責任保険)および就学費用保障保険(学資費用補償特約(大学生等用)・疾病による学資費用補償特約(大学生等用)付帯総合生活保険)は、日本コープ共済生活協同組合連合会が保険契約者となる団体契約です。

2 学生の病気の傾向(CO・OP学生総合共済)

病気入院の傾向(こころの病を除く)

2024年度の支払件数は14,389件でした。



病気入院の原因別を見てみると、消化器系では①埋伏歯、②歯頸顎面(先天)異常[不正咬合を含む]、③急性虫垂炎の順です。呼吸器系では①気胸、②急性扁桃炎、③扁桃周

囲膿瘍、腫瘍では女性特有の病気が上位を占めています。こうした原因別順は昨年度の2023年度と同じ傾向となっています。

入院病気分類順(こころの病を除く)	
消化器系の疾患	4,183件
呼吸器系の疾患	2,615件
腫瘍(新生物)	1,391件
感染症	1,184件
神経・感覚器の障害	938件
泌尿器・生殖器系の疾患	709件
損傷・中毒	671件
症状・徵候・診断名不明	510件
筋肉・骨格・関節の障害	451件
循環器系の障害	331件
その他	1,406件
小計	14,389件

平均入院日数

7.2日

支払事例

【胃腸炎・熱中症】

大学3年生
入院2日
支払共済金 20,000円

【大葉性肺炎】

大学3年生
入院9日
支払共済金 90,000円

【双極性感情障害】

大学2年生
入院88日
支払共済金 880,000円

こころの早期対応保障

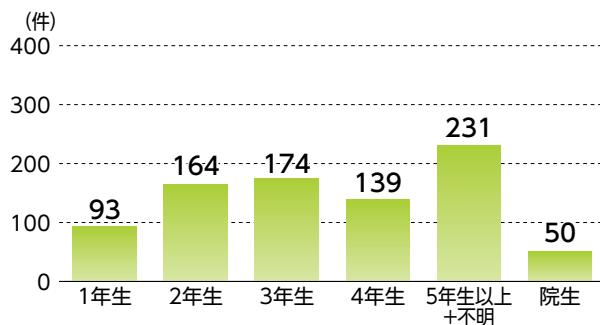
【統合失調症】

大学1年生
支払共済金 10,000円

病気の傾向(こころの病とこころの早期対応保障)

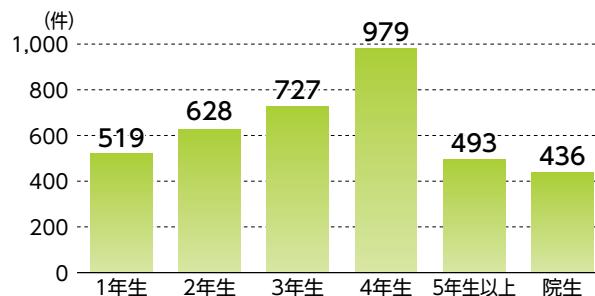
こころの病(精神障害)

2024年度の支払件数は851件でした。



こころの早期対応保障

2024年度の支払件数3,782件でした。



こころの病での入院原因順

うつ病エピソード	153件
アルコール使用飲酒による精神・行動の障害	123件
双極性感情障害<躁うつ病>	119件
統合失調症(精神分裂病)	111件
摂食障害	60件
その他	285件
小計	851件

平均入院日数

38.8日

学生総合共済の病気入院保障では、こころの病(精神的な病気)の保障があります。

こちらは他の病気と比べて一般的に入院日数が長期となり、結果として学業や経済的にも影響を及ぼすことになります。学生総合共済はこころの病に対応し、学生の勉学継続

を支えています。

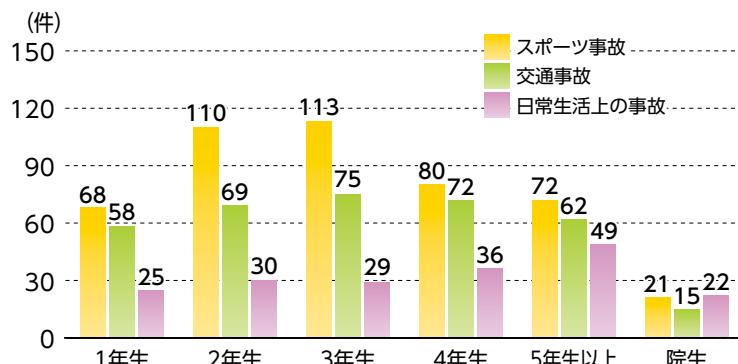
こころの早期対応保障は精神疾患の診療を受けた学生に、共済期間(1年)につき1回、定額でお支払いを行っています。重篤化する前に早期に治療を行ってもらえるようにとの趣旨で、この保障を設けています。

3 学生のケガと死亡の傾向(CO・OP学生総合共済)

事故種別によるケガ入院の傾向

2024年度の支払件数は3,520件でした。

(感染症※による入院件数も含まれています)



相手と接触を伴うサッカー、ラグビー、アメリカンフットボールは例年ケガ事例で上位を占めるスポーツ競技となっています。交通事故では自転車運転中が最も多く、事故防止の

ため学内で外部の方の協力をいただいて自転車点検を行い、安全運転を呼びかける取り組みを行っている大学生協もあります。

※感染症の一類、二類、三類による入院は事故(ケガ)入院として扱っています。

支払事例

【スポーツ中の事故】

大学1年生
入院26日、通院5日
支払共済金 270,000円
柔道中相手の技に受け身が取れず、後頭部を打って脳震とうとなった。

【日常生活中の事故】

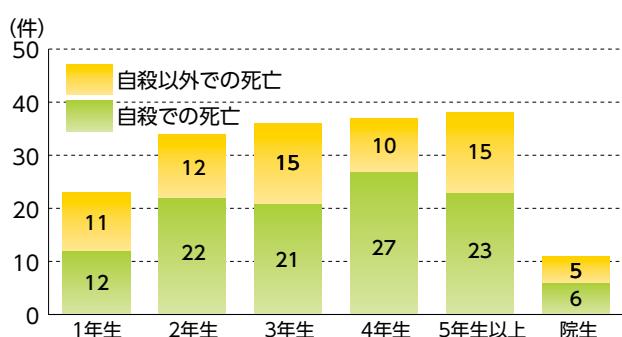
大学4年生
入院4日、手術1回
支払共済金 90,000円
海外旅行先で転倒した際に、顔と前歯を打って歯槽骨骨折のケガをした。

スポーツ事故順		
競技名	支払件数	平均入院日数
サッカー・フットサル	90件	9.0日
ラグビー	43件	6.2日
アメリカンフットボール	42件	7.5日
バスケットボール	31件	12.5日
スノーボード	31件	7.5日
野球	30件	5.0日
バレーボール	22件	10.2日
スポーツ中不明	20件	11.8日
スキー	19件	8.8日
柔道	15件	11.8日
ラクロス	15件	10.1日
その他の競技	106件	—

交通事故順		
事由	支払件数	平均入院日数
自転車運転中	120件	12.5日
自動二輪運転中	93件	18.2日
自動車運転中	35件	15.5日
自動車同乗中	31件	9.8日
原付運転中	27件	14.3日
歩行中	25件	18.4日
その他	20件	—

学生本人の死亡の傾向

死亡原因内訳学年別



死亡原因	支払件数	割合
自殺	111件	62.0%
病気及び病気とみられる事由	41件	22.9%
事故とみられる事由及び原因不明	27件	15.1%
小計	179件	100.0%

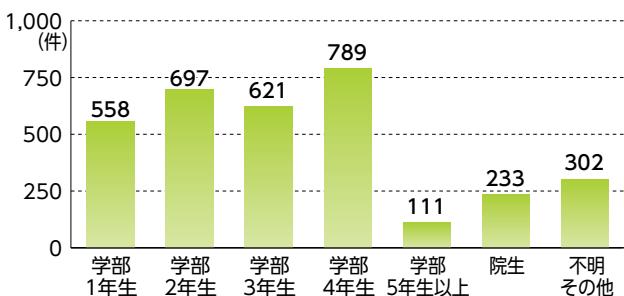
大変痛ましいことですが、学生本人の死亡で自殺は一番多い事由となっています。また、学業のプレッシャー、進学、就職などさまざまな変化が訪れる上級生になるにつれて徐々に多くの傾向があります。学生総合共済では学生のさまざまな悩みに対するサポートして、「学生生活無料健康相談テレホン」を設置しています。加入者に加え、保護

者の方も利用できるサービスです。24時間365日多くの方からの悩み、不安にお答えしています。(詳細はp.9~p.12をご参照ください)

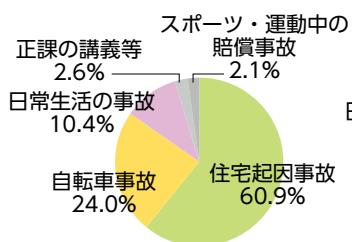
事故分類	支払件数(割合)	支払保険金(割合)	平均支払保険金
住宅起因事故	2,016件 60.9%	235,662千円 35.6%	117千円
自転車事故	795件 24.0%	298,011千円 45.0%	375千円
日常生活の事故	345件 10.4%	66,109千円 10.0%	192千円
正課の講義等	85件 2.6%	19,439千円 2.9%	229千円
スポーツ・運動中の賠償事故	70件 2.1%	42,525千円 6.4%	608千円
合計	3,311件 100.0%	661,746千円 100.0%	200千円

注)父母駆けつけ費用と本人死亡・後遺障害の件数は除いています。

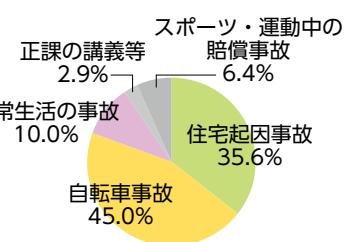
事故発生学年



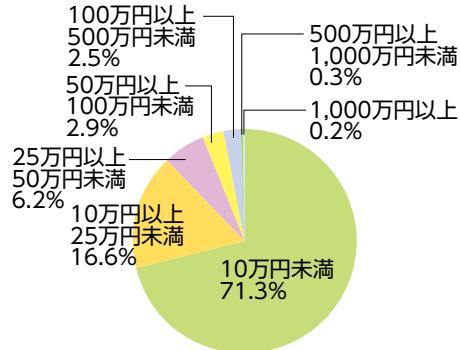
支払件数割合



支払保険金割合



支払保険金の内訳



対象別支払割合				
区分	件数(割合)	金額(割合)	平均支払保険金	
対人	166件 5.0%	157,647千円 23.8%	950千円	
対人・対物	150件 4.5%	107,687千円 16.3%	718千円	
対物	2,123件 64.1%	303,798千円 45.9%	143千円	
不明、その他	872件 26.3%	92,614千円 14.0%	106千円	
合計	3,311件 100.0%	661,746千円 100.0%	200千円	

学生賠償責任保険は、他人の身体や持ち物に対する賠償事故を保障する保険です。この保険は一人暮らし特約なしと一人暮らし特約があり、自宅生には一人暮らし特約なしを、アパート、寮などにお住いの方には住まいに関わる保障のついた一人暮らし特約ありに入しされ

れる方が多いです。学生賠償責任保険の保険金支払いでは10万円未満が全体の約7割です。なお、500万円以上の高額支払いは合計17件ありその内訳は、自転車事故9件、住宅起因事故3件、スポーツ・運動中の事故 3件、日常生活の事故2件となっています。

支払事例

【自転車事故】

大学1年生
支払保険金 13,271,187円
スクランブル交差点を自転車走行中、歩行者と接触しケガをさせた。

【日常生活の事故】(アルバイト中の事故)

院生
支払保険金 2,200,000円
医療機関でアルバイト中、誤ってアルバイト先の機器を壊してしまった。

【日常生活の事故】

大学3年生
支払保険金 50,000円
ホテルに宿泊中、壁に手をついた際、壁に穴を開けてしまった。

【正課の講義等における事故】

院生
支払保険金 784,630円
実験中に大学の研究室の実験装置を壊してしまった。

【正課の講義等における事故】

学部6年生
支払保険金 38,750円
病院にて実習中、自身に誤って針を刺してしまった。

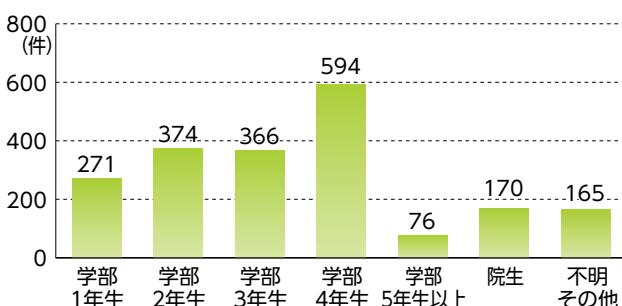
【スポーツ中の事故】

属性不明
支払保険金 4,172,351円
スノーボード中、相手スキーとの合流地点での衝突事故を起こし、ケガをさせてしまった。

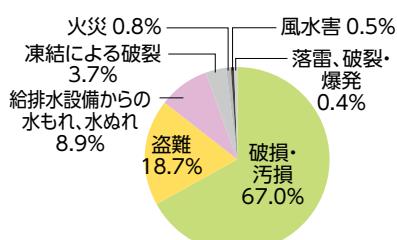
5 学生の住まいの賠償事故の傾向(学生賠償責任保険)

住まいの事故の事由	支払件数(割合)	支払保険金(割合)	平均支払保険金
破損・汚損	1,350件 67.0%	94,177千円 40.0%	70千円
盗難	376件 18.7%	24,133千円 10.2%	64千円
給排水設備からの水もれ、水ぬれ	180件 8.9%	80,459千円 34.1%	447千円
凍結による破裂	75件 3.7%	17,763千円 7.5%	237千円
火災	16件 0.8%	17,223千円 7.3%	1,076千円
風水害	11件 0.5%	1,412千円 0.6%	128千円
落雷、破裂・爆発	8件 0.4%	495千円 0.2%	62千円
合計	2,016件 100.0%	235,662千円 100.0%	117千円

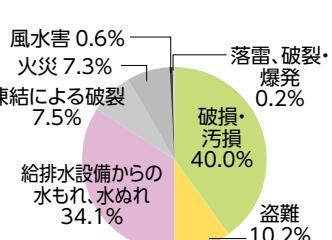
事故発生学年



支払件数割合



支払保険金割合

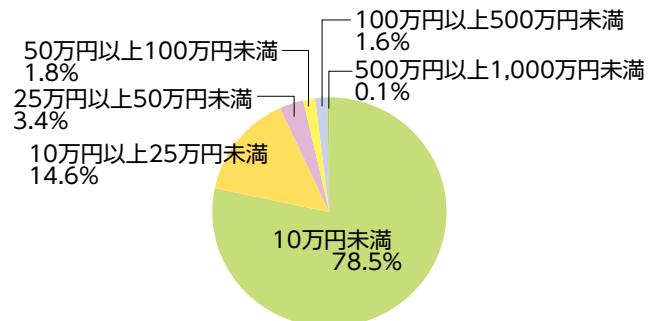


学生賠償責任保険（一人暮らし特約あり）は、借用住宅に関わる様々なリスクにそなえた保険です。被保険者の過失による借用住宅内や自分の家財の損壊、火災、盗難などに対し幅広く保障しています。

本ページで紹介しているように、破損・汚損の件数が住宅起因事故の中で一番多く、67%とおよそ3分の2を占めています。これらの事故では例年4年生の割合が他の学年と比べて多くなっています。卒業等で部屋の退去時に発生・発覚する事例が多くなるためと推察されます。

給排水設備の水もれや火災事故は、全体の比率からは高いとはいえませんが、いったん発生すると被害が広範囲に及ぶことから高額な保険金支払いとなる場合が多いです。

支払保険金の内訳



支払事例

【住宅内の破損・汚損事故】

大学4年生
支払保険金 354,154円
フライパンを落とした際に、借用住宅の床にへこみと穴を開けてしまった。

【住宅内の破損・汚損事故】

大学4年生
支払保険金 32,120円
帰宅したところ、借用住宅ベランダ側のガラスが割られ、鍵が壊されていた。

【給排水設備からの水もれ、水ぬれ】

大学5年生
支払保険金 5,857,413円
洗濯機のホースが外れ、自室と階下に水もれ被害を発生させた。

【給排水設備からの水もれ、水ぬれ】

大学1年生
支払保険金 1,852,341円
水抜き後に元栓を閉め忘れ、自室と階下に水もれを起こしてしまった。

【凍結による破裂】

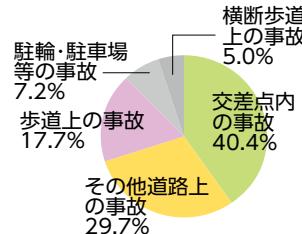
学部3年生
支払保険金 71,500円
借用住宅の水道管が凍結・破裂した。

【風水害】

学部2年生
支払保険金 138,435円
大雨により借用住宅の室内が浸水し、家財が汚損した。

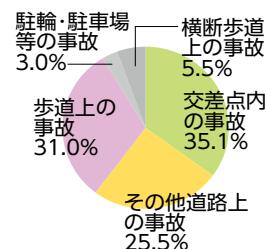
自転車事故の事由	支払件数(割合)	支払保険金(割合)	平均支払保険金
交差点(十字路・T字路・Y字路)内の事故	321件 40.4%	104,564千円 35.1%	326千円
その他道路上の事故	236件 29.7%	75,905千円 25.5%	322千円
歩道上の事故	141件 17.7%	92,448千円 31.0%	656千円
駐輪・駐車場等の事故	57件 7.2%	8,807千円 3.0%	155千円
横断歩道上の事故	40件 5.0%	16,286千円 5.5%	407千円
合計	795件 100.0%	298,011千円 100.0%	375千円

支払件数割合



対象別支払割合					
区分	件数(割合)		金額(割合)		平均支払保険金
対人	122件	15.3%	133,564千円	44.8%	1,095千円
対人・対物	120件	15.1%	59,765千円	20.1%	498千円
対物	536件	67.4%	91,227千円	30.6%	170千円
不明、その他	17件	2.1%	13,455千円	4.5%	791千円
合計	795件	100.0%	298,011千円	100.0%	375千円

支払保険金割合



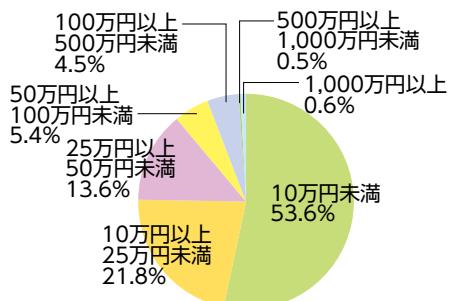
便利で手軽な自転車は学生の身近な移動手段として、通学や買い物など幅広く利用されています。

しかし、万が一事故が起きた場合、高額な賠償事故となる可能性もあります。2024年度学生賠償責任保険の支払保険金1,000万円以上は計6件、そのうち5件は自転車事故でした。2024年度の学生賠償責任保険全体での支払最高金額は、自転車搭乗中に歩行者と接触した対人事故で約3,410万円です。こうした重大事故をはらむ乗り物となる可能性について、あらためて認識する必要があります。

近年、自転車保険の加入が努力義務、または義務化の自治体が増えています。学生総合共済と学生賠償責任保険の両方の加入で、もしもの時に自身のケガと他人への賠償にそなえることができます。

また、自転車点検や安全運転の呼びかけなど事故防止に向けた取り組みが多くなっています。

支払保険金の内訳



学生賠償責任保険における示談交渉サービスの利用状況について

示談交渉サービスとは、学生賠償責任保険の被保険者(加入学生)が加害者となった時、被害を受けた相手方および被保険者の同意を得られた場合に、被保険者に代わって保険会社が被害者と折衝し解決をお手伝いするサービスです。毎年、自転車事故での利用者が多くなっています。

示談交渉サービスは、交渉をスムーズに行うことと被害者救済が遅延することのないように、また事故を起こした学生の負担を軽減し、勉学研究への影響をできるだけ抑えることを目的に付帯しているサービスです。

示談交渉サービス利用状況				
事故分類	利用あり	利用なし	合計	利用率
自転車事故	381件	416件	797件	47.8%
住宅起因事故(破損・汚損)	259件	1,090件	1,349件	19.2%
スポーツ・運動中の事故	52件	20件	72件	72.2%
日常生活の事故	33件	311件	344件	9.6%
住宅起因事故(水もれ事故)	29件	151件	180件	16.1%
その他の事故	43件	1,232件	1,275件	3.4%
合計	797件	3,220件	4,017件	19.8%

注)これらの数値は父母駆けつけ費用、本人死亡・後遺障害も含めています。

7 父母・扶養者に関する保障 (CO・OP学生総合共済) 就学費用保障保険

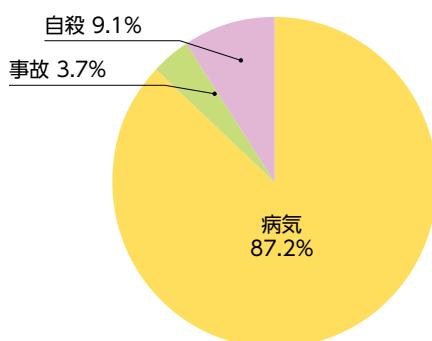
親扶養者死亡保障における共済金の支払状況(CO・OP学生総合共済)

学生の親または扶養者が亡くなられた際に共済金をお支払いする保障です。また重度障害になった場合も同じ金額で保障をしています。加えて、扶養者の事故死亡または事故による重度障害の保障もあります。

学生総合共済はこうした保障によって、親扶養者のもしもの際における学生の学業継続を経済面から支えています。

死亡原因	支払件数	件数割合	支払共済金
病気	978件	87.2%	444,460千円
事故	42件	3.7%	19,200千円
自殺	102件	9.1%	49,200千円
合計	1,122件	100.0%	512,860千円

共済金の支払件数割合



就学費用保障保険の保険金支払状況

就学費用保障保険は扶養者が病気やケガで死亡、またはケガで重度後遺障害を負った結果、学生が扶養されなくなった場合の学資費用を卒業予定年までサポートする保険です。通学定期代や一人暮らしの家賃も限度額まで保障対象となります。

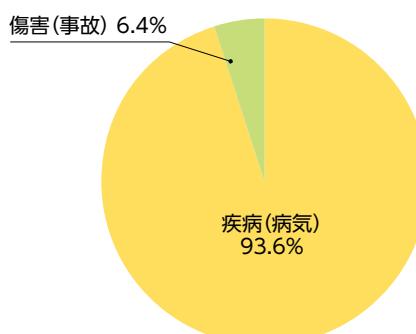
大学・学部などの授業料に合わせ、1口から15口まで加入口数を設定することができます。

学生を経済的に支えておられる扶養者のもしにもそなえる保障として、学生総合共済とともにご案内している保険です。

事由	支払件数(割合)		支払保険金(割合)		平均支払保険金
疾病(病気)	727件	93.6%	222,440千円	93.2%	306千円
傷害(事故)	50件	6.4%	16,136千円	6.8%	323千円
合計	777件	100.0%	238,576千円	100.0%	307千円

注)学生本人がケガで後遺障害を負った場合の支払件数、支払保険金は除いています。

保険金の支払件数割合



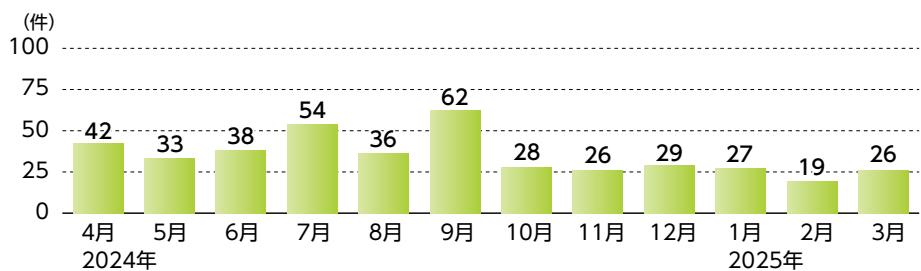
相談の傾向 (総件数:420件 うち新規利用:250件、再利用:125件、不明45件。ドクター利用件数:0件)

相談内容	件数	割合	学年別件数					
			1年	2年	3年	4年	大学院	その他
病気、ケガ等の疑問や不安(日常的な範囲)	154件	36.7%	43件	23件	32件	28件	25件	3件
病気、ケガ等の疑問や不安(受診中・受診後)	77件	18.3%	9件	14件	20件	18件	12件	4件
共済に関する問い合わせ	46件	11.0%	1件	1件	0件	0件	2件	42件
医療機関、施設等の案内	43件	10.2%	21件	5件	10件	2件	4件	1件
心の悩み(身体的症状を伴う心の相談:不安、不眠、等)	13件	3.1%	0件	1件	3件	2件	4件	3件
性に関すること	9件	2.1%	2件	1件	3件	1件	2件	0件
食生活および健康づくり	8件	1.9%	1件	0件	1件	1件	5件	0件
その他	70件	16.7%	3件	2件	6件	8件	0件	51件
合計	420件	100.0%	80件	47件	75件	60件	54件	104件

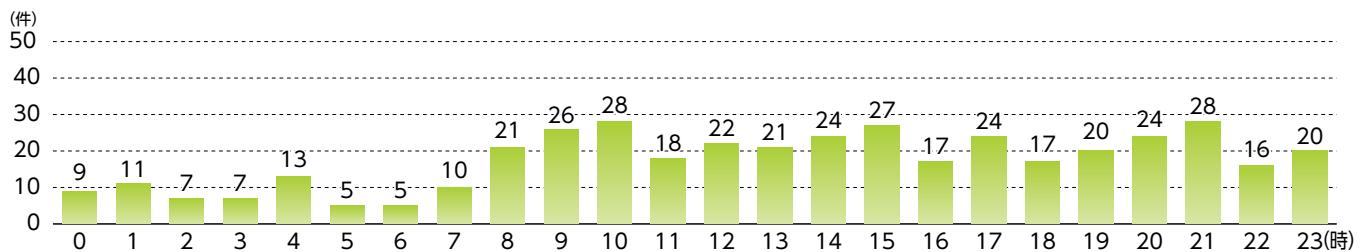
統柄別	件数	割合
本人	299件	71.2%
親	106件	25.2%
その他	15件	3.6%
合計	420件	100.0%

住居状況	件数	割合
一人暮らし	237件	56.4%
家族と同居	83件	19.8%
その他	100件	23.8%
合計	420件	100.0%

月別相談件数



時間帯別相談件数



《全体の動き》

2024年度の相談件数は420件(2023年度比9件減)でほぼ横ばいでした。

例年春から夏の8月にかけて相談件数が増え、冬の2月、3月は減る傾向にあります。2024年度は9月にピークが来ましたが相談内容は多様で、特定の社会的背景や感染症に起因するものではなかったため、一時的な傾向かと思われます。

《相談者の利用状況》

本人からの相談比率が71.2%で2023年度の約55%から約16%増加し、保護者からの相談比率は25.2%で2023年度の約40%と比べ、約15%減となりました。

学年別では1年生の相談が一番多く全体比率19.0%で、これは前年度の19.1%とほぼ同じ傾向です。特徴的であったのは大学院生で、院生相談件数2023年度24件→2024年度54件、全体比率2023年度5.6%→24年度12.9%と増えています。

大学院生の相談は多岐にわたりますが、精神的な不調やストレスに関する内容も多く見受けられます。

《相談内容》

「病気、ケガ等の疑問や不安(日常的な範囲)」が一番多く、この傾向は例年と変わりありませんでした。

学生本人からは、発熱や吐き気・おう吐、下痢、腕や脚・腰などのケガや痛み、不眠、婦人科系のことなど多岐にわたる相談がありました。保護者からは離れて暮らす子どもの発熱などの状況の他、ケガへの対応方法についての相談もありました。また、本相談は学生総合共済加入者へのサービスとなります。その他に分類された中には、「今すぐ相談したいが、被共済者番号がわからない」という電話も多く寄せられています。

学生総合共済加入者のための安心サポートとして、「学生生活無料健康相談テレホン」を設けています。これは加入者(学生)だけでなく、保護者もご利用可能です。

からだとこころの健康相談では、健康やこころに関する悩みに専門の相談員が答えています。対面では相談しにくい内容でも、時間帯を問わず安心して利用可能です。

相談事例（※個人が特定される可能性のある相談について、一部修正を加えている事例もあります）

<病気、ケガ等の疑問や不安>

ワンデーのソフトコンタクトを装着直後から左眼に違和感があった。黒目にコンタクトが乗っていないようで、何度も外そうとして指で目を触ってしまった。見えないところに入ったのかもしれない。どう対応すればよいか。

(2年 19歳)

PMS(月経前症候群)で通院しているが、改善がない。授業中、うとうとして一瞬夢と現実を行き来するようなことがある。緊張すると眠れないが、これは睡眠障害か。

(院1年 23歳)

昨日から頭がふらふらし、座っていても船が揺れるような感じである。食事や水分摂取はできている。自宅内でいつも通り歩行は可能。症状が心配なのだが、受診は必要か。

(4年 22歳)

昨日から発熱あり。解熱鎮痛薬を内服し39℃と少し下がった。食事や水分は摂れており、排尿もある。咳や痰は少しあるが受診した方がよいか。

(1年 18歳)

<健康づくり(食生活、運動、健診、予防接種)>

生活習慣病検査などを受けたいと思っている。市のHPでは学生は学校の健康診断を利用するように記載があったが、学校では検査項目が限られている。他に健康診断が受けられる場所はないか。

(院1年 25歳)

病院の血液検査で、中性脂肪と血小板の値が高かった。医師からは運動などをしてよいと言われた。どういったことに注意して生活したらよいか。

(4年 24歳)

<医療機関、施設等の案内>

昨日から下痢が4回あり、昨夜も強い腹痛があった。今は違和感程度で痛みは強くない。食事や水分は取れている。消化器内科で受診できるところを知りたい。

(1年 19歳)

息子は2週間前より咳が4日前から発熱があり、扁桃腺炎と診断され。昨日から再発熱し今は39℃で、トイレに行くのがやっとな状態。受診は難しいため、往診が可能な医療機関はないか。

(1年 19歳の母親)

8 学生生活無料健康相談テレホン(こころの健康相談)

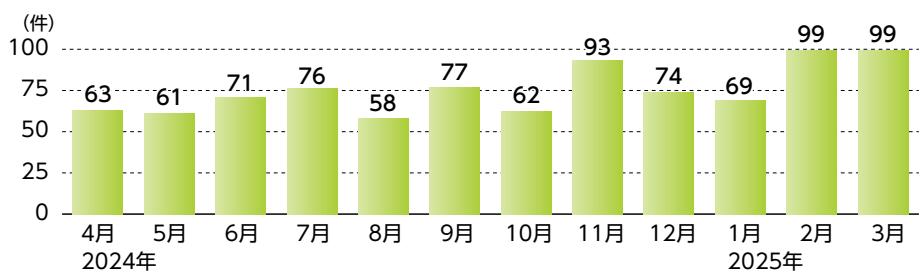
相談の傾向（総件数：902件 うち新規利用：183件、再利用：691件、不明28件）

こころの相談主訴分類	件数	割合	学年別件数					
			1年	2年	3年	4年	大学院	その他
精神症状	380件	42.1%	32件	32件	41件	73件	195件	7件
人間関係	234件	25.9%	24件	10件	51件	56件	89件	4件
学業の問題(進路等含む)	128件	14.2%	18件	10件	12件	39件	48件	1件
身体症状	44件	4.9%	7件	5件	8件	6件	16件	2件
その他	116件	12.9%	15件	4件	6件	5件	50件	36件
合計	902件	100.0%	96件	61件	118件	179件	398件	50件

統柄別	件数	割合
本人	773件	85.7%
親	129件	14.3%
その他	0件	0.0%
合計	902件	100.0%

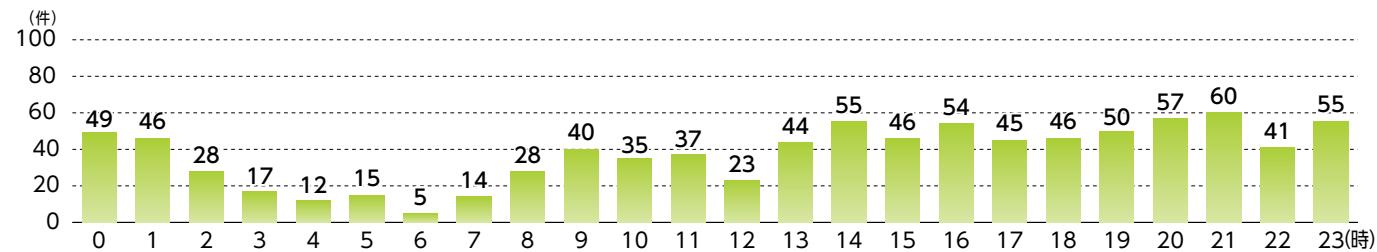
住居状況	件数	割合
一人暮らし	521件	57.8%
家族と同居	328件	36.4%
その他	53件	5.9%
合計	902件	100.0%

月別相談件数



ここでの健康相談では、臨床心理士などの専門カウンセラーがじっくり悩みを受け止めます。メンタルヘルスの相談は、1回の電話では解決に結びつかないこともあります、再利用の多さにつながっています。

時間帯別相談件数



相談者の状態(複数回答あり)		件数	今年度割合
身体症状	疲労・倦怠・脱力感	56件	26.3%
	不眠	56件	26.3%
	食欲不振	24件	11.3%
	吐き気	19件	8.9%
	動悸・息切れ	13件	6.1%
	頭痛	7件	3.3%
	下痢・便秘	4件	1.9%
	腹痛	3件	1.4%
	高血圧	1件	0.5%
	その他	30件	14.1%
小計		213件	100.0%
精神症状	不安	275件	38.1%
	抑うつ症状	150件	20.8%
	意欲の低下	129件	17.9%
	イライラ	57件	7.9%
	自殺観念	41件	5.7%
	緊張	22件	3.1%
	その他	47件	6.5%
	小計	721件	100.0%

相談者の状態(複数回答あり)		件数	今年度割合
現在の状態	日常生活に影響	185件	40.5%
	学業に影響	127件	27.8%
	登校できない	59件	12.9%
	自殺未遂(観念)	13件	2.8%
	外出できない(ひきこもり)	11件	2.4%
	学力の低下	7件	1.5%
	依存症(アルコール・ギャンブル・買い物)	6件	1.3%
	過食・拒食	6件	1.3%
	暴力(虐待)	3件	0.7%
	非行・犯罪	3件	0.7%
薬物摂取		2件	0.4%
リストカット		1件	0.2%
その他		34件	7.4%
小計		457件	100.0%

《全体の動き》

2024年度は902件(2023年度909件)でほぼ同数での受電数でした。複数回利用者の数、率とも昨年度より増加傾向にあり、頻回相談の方が増加したものと考えられます。また、このこころの相談は年間を通じ月の変動があまりなく寄せられています。

《相談者の利用状況》

大学院生の相談件数が2023年度72件→2024年度398件と大幅に増加しました。

院生においても複数回での利用者の方が多い傾向にあります。

《相談内容》

2024年度は精神症状での悩みの訴えが増えています。院生の悩みもこちらが多く、人間関係や学業の問題を背景としている場合が多いといえます。

3年生では人間関係の悩みが増加し、中でもサークル関係での悩みが多く寄せられました。

4年生は卒業の不安、就職にあたっての悩みなど将来に関する相談内容が例年同様多くを占めています。

また、「話しがしたい」と寂しさから入電される相談者もいます。周りに気軽に話す機会に乏しく、漠然とした孤独を抱えているかもしれません。

こうした方に寄り添い、お話を伺うことも本サービスの大重要な役割の一つと認識し、対応を行っています。

相談事例（※個人が特定される可能性のある相談について、一部修正を加えている事例もあります）

＜身体症状の悩み＞

最近胃の痛みが続いているが、原因は不明。身体を動かして気を紛らわそうと試してはいるが、元々ひざ痛や腰痛もあるため、思い切りできないことが余計ストレスに感じ、相談した。
(1年 20歳)

息子は楽しそうに大学生活を送っているが、夏の季節は食欲が落ち、体調を崩しやすい。連絡を取ったところ、「疲れているかもしれない」として食欲が落ちているようだ。息子にどう関わっていけばよいか。
(4年 22歳の父親)

＜精神症状の悩み＞

周りの人たちと自分を比べてしまい、食べては吐いてを繰り返し数年たつ。自分に自信を持とうと思っても、褒められた経験もないで難しい。どうしたら自尊心が満たされるのだろうか。
(修士1年 23歳)

大学生活が想像していたものと違い、精神的に不安定になっている。母からは励ましの言葉をもらえるが、負担になっているのではと思っている。不安を少しでも軽減できる方法を教えてもらいたい。
(1年 18歳)

＜学業進路の悩み＞

専門科目的量や質が増え、勉強に不安がある。単位を落としたくない気持ちが強く、涙が出てしまう。また、不安が強く外に出るのも億劫である。不安を解消するために、教員に質問しに行くのは、問題ないだろうか。
(2年 19歳)

＜人間関係の悩み＞

笑顔を作るのが苦手なため、周囲の人に怖いと思われているのではないかと不安。数少ない友達に聞こうと思うが、話をしてくれない気がしてならない。
(3年 22歳)

8 学生生活無料健康相談テレホン(くらしの相談)

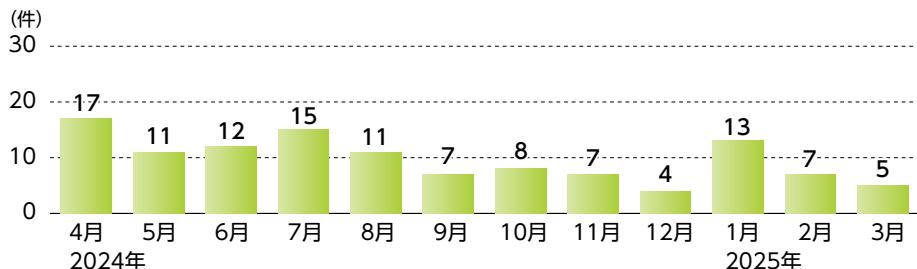
※「くらしの相談」サービスは、2026年3月末日で終了いたします。

相談の傾向 (総件数117件)

相談内容	件数	割合	学年別件数					
			1年	2年	3年	4年	大学院	その他・不明
対人関係・トラブル	16件	13.7%	2件	0件	1件	0件	0件	13件
水まわり	13件	11.1%	0件	0件	1件	3件	0件	9件
生協・大学	13件	11.1%	1件	0件	0件	0件	0件	12件
自転車	9件	7.7%	0件	1件	0件	0件	0件	8件
カギ	8件	6.8%	1件	0件	0件	0件	0件	7件
建物・室内設備	7件	6.0%	1件	0件	0件	0件	1件	5件
病院案内	6件	5.1%	0件	1件	0件	0件	0件	5件
盗難・紛失	5件	4.3%	0件	0件	0件	0件	2件	3件
上記以外その他の問い合わせ	40件	34.2%	2件	3件	2件	1件	1件	31件
合計	117件	100.0%	7件	5件	4件	4件	4件	93件

続柄別	件数	割合
本人	86件	73.5%
親	30件	25.6%
その他	1件	0.9%
合計	117件	100.0%

月別相談件数



《全体の動き》

2024年度の件数は117件と、2023年度132件に比べ15件減少しました。

例年4月～夏にかけて入電が多く、その後落ち着く傾向ですが、24年度は1月の入電が多くなっています。

《相談者の利用状況》

例年は学生本人利用と保護者の利用がおおむね半数ずつ程度です。24年度は本人の利用が7割を占め、本人の利用が目立つ形となりました。

《相談内容》

例年は、鍵や水まわりなど生活に密着した相談が最も多い傾向にあります。24年度は対人関係や病院案内、盗難・紛失といった日常の各種トラブルの相談が多く、全体の4割以上を占め、大学生のトラブルの多様化が伺える形となりました。

なお、生活のトラブルに関しては、学生生活110番の会員であれば条件に合うケースで修理代などの費用が無料となります。相談内容を確認した上で、スタッフが適切に対応を行っています。

相談事例紹介 (※個人が特定される可能性のある相談について、一部修正を加えている事例もあります)

<対人関係・トラブル>

隣人の騒音トラブルでマンションを退去したいが、今解約すると違約金が発生すると言われた。その金額は払わないといけないものなのか。
(学年不詳)

<水まわり>

洗濯機の排水部から異臭がある。対応してほしい。
(4年生)

<生協・大学>

自分の子どものサークル内でのケガについてお聞きしたい。
(親より)

<自転車>

自転車の後輪がパンクしたので、修理をお願いしたい。
(学年不詳)

<カギ>

玄関ドアの鍵穴が回らず開かないため、開錠をお願いしたい。
(1年生)

<建物・室内設備>

室内の火災感知器が鳴り続け、ボタンを押しても止まらない。
(6年生)

9

大学生協の保障制度 支払一覧

学生総合共済及び大学生協のおすすめする保険の加入者で支払事由の発生した方に、2024年度は合計約6万9千件、約51億9千万円の共済金・保険金をお送りしました。CO・OP学生総合共済では、ケガや病気をした学生に、経済的なささえとなる共済金ができるだけお早めに、またこの共済金とともに「たすけあい」の気持ちもあわせてお届けしています。

大学生協の保障制度加入者数(2025年3月20日現在)		
学生総合共済(新社会人コース以外)		731,373人
学生総合共済(新社会人コース ^{*1})		87,209人
学生賠償責任保険		697,737人
就学費用保障保険		312,136人

※1 CO・OP学生総合共済に学生時代加入された方が、卒業後に継続可能な保障です。

共済金・保険金支払事由区分 注:事由の後に()のないものは、学生総合共済での支払いによるものです。		件数	金額
学生本人	病気入院	15,240件	13億6,415万円
	病気長期入院	12件	720万円
	病気手術	9,545件	4億7,484万円
	病気重度障害	6件	3,600万円
	事故入院	3,520件	3億4,082万円
	事故長期入院	3件	180万円
	事故手術	2,980件	1億4,890万円
	事故通院	28,548件	7億9,107万円
	事故後遺障害	49件	5,296万円
	学業復帰支援臨時費用	1件	100万円
	こころの早期対応保障	3,782件	3,782万円
	死亡	179件	1億7,900万円
	事故死亡	20件	1,000万円
	ケガによる死亡・後遺障害(学生賠償責任保険・就学費用保障保険)	18件	39万円
	針刺し・感染事故(学生賠償責任保険)	6件	9万円
小計		63,909件	34億4,607万円
父母・扶養者	親扶養者死亡	1,122件	5億1,286万円
	親扶養者重度障害	51件	2,233万円
	扶養者事故死亡	56件	2億6,650万円
	扶養者事故重度障害	4件	1,550万円
	学資費用(就学費用保障保険)	777件	2億3,857万円
	小計	2,010件	10億5,576万円
自宅外生	住宅起因事故(学生賠償責任保険)	2,016件	2億3,566万円
他人に対して	自転車事故(学生賠償責任保険)	795件	2億9,801万円
	日常生活の事故(学生賠償責任保険)	345件	6,610万円
	スポーツ・運動中の事故(学生賠償責任保険)	70件	4,252万円
	正課の講義等 ^{*2} (学生賠償責任保険)	79件	1,934万円
父母・救援者へ	父母駆けつけ費用(学生賠償責任保険)	694件	3,113万円
	合計	69,918件	51億9,463万円

※2 正課の講義等の事故のうち、針刺し・感染事故は学生本人に入っています。

●この表内では、金額千円の単位以下を切り捨てて表示しています。小計と最後の合計は実際の支払合計数値から千円単位を切り捨てたものです。各事由の切り捨て金額を足したものとはそれが生じているところもあります。

●学生総合共済加入者には、加入者全員対象の”ストーカー被害見舞金”1件当たり定額5万円があります。2024年度は28件140万円をお支払いしました。

また、異常災害見舞金として同年度に91件169万円をお支払いしています。

10 加入者数と支払件数の推移

学生総合共済は1981年の発足以来、ケガや病気で困っている学生や親扶養者を亡くして経済的に困難に陥った学生に共済金をお届けしてきました。また、幅広い学生、教職員、生協職員の声をもとに制度の改善や保障の拡大をすすめました。

わたしたちは共済に加入していないかったためケガや病気にあった

際に、共済金のお支払いができない学生をなくしたいとの想いで、すべての学生・院生に加入をすすめることを大切にしています。

学生総合共済開始時に約3万人であった加入者は、2025年3月現在約81.8万人となり、今後さらにこのたすけあいの輪を広げていきたいと願っています。

学生総合共済



●2020年度から2021年度の加入者数は、各年の9月末の数字です。支払件数は各年4月から翌年3月末です。

●2022年度以降の加入者数は、各年度末の3月20日時点の数字です。支払件数は各年3月21日から翌年3月20日です。

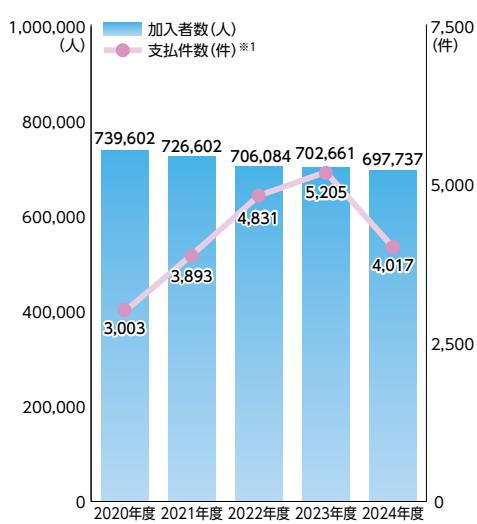
●2022年度の支払件数急増の大きな要因は、当時お支払い対象としていた新型コロナウイルス感染症によるものです。

●2022年度より新社会人コースの加入者数を含んでいます。

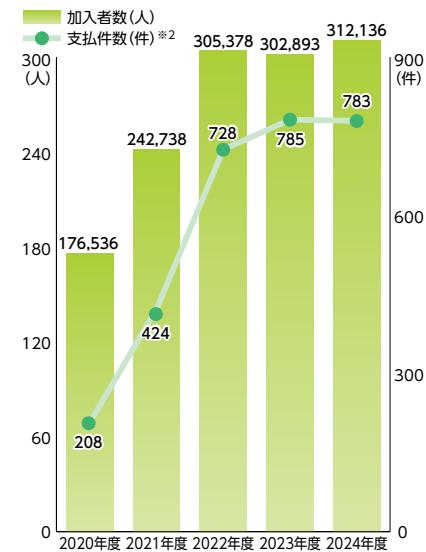
●2019年4月より新規募集を停止した火災共済の加入者数、支払件数は含まれていません。

おすすめする保険の加入者数と支払件数の推移

学生賠償責任保険



就学費用保障保険



●2020年度から2021年度の加入者数は、各年の9月末の数字です。支払件数は各年4月から翌年3月末です。

●2022年度以降の加入者数は、各年度末の3月20日時点の数字です。支払件数は各年4月から翌年3月末です。

※1 学生賠償責任保険の支払件数には、父母駆けつけ費用と学生本人死亡・ケガによる後遺障害の件数が含まれています。

※2 就学費用保障保険の支払件数には、学生本人のケガによる後遺障害の件数が含まれています。

11 共済金の支払いを受けた学生の声

病気 【扁桃周囲膿瘍】 入院 7日 支払共済金 70,000円 ある日突然、のどの痛みを感じ始めた。 ストレスによる免疫低下が原因だと思う。 電話一本で手続きができるので便利だと感じました。自分が当事者になって初めて、この制度のありがたみを実感しました。 ありがとうございました。 (大学3年生)	病気 【右肺腫瘍】 入院 8日、手術1回 支払共済金 130,000円 大学入学後の健康診断にて発覚した。 思いがけず共済のお世話になる事となり、いざという時に備える大切さを痛感しましたし、本当に助かりました。 (大学1年生)	病気 【クローン病】 入院 24日 支払共済金 240,000円 秋ごろから少しずつ症状が現れ、春休みで悪化した。 病気になってしまい、辛いこともありましたが、沢山の思いやりを感じることもできました。大変感謝しています。 (大学2年生)
こころの早期対応保障 【ASD うつ】 支払共済金 10,000円 周りとなじめなく、無理をしていたように思う。大学生になりカウンセリング受診などを経て、病院へ通うようになった。 このような共済金を受けることは、本当にあります。こういった問題は人に言えないのですが、制度を通して人に助けられているのだと気が付きました。 (大学4年生)	こころの病 【双極性障害】 入院 43日 支払共済金 430,000円 症状のきっかけは不明。 電話で応対してくださった方が非常に丁寧でありがとうございました。 (大学3年生)	屋内での事故 【足首及び足の表在損傷】 通院 4日 支払共済金 8,000円 自宅で調理中、フライパンが足に落ちた。 このような不慮の事故でもサポートいただけて、金銭的にも精神的にも助かりました。 加入している皆さんが困った時もぜひ利用して欲しいです。 (大学3年生)
交通事故 【頸部の関節、靭帯の脱臼、ねんざ、ストレイン】 通院 26日 支払共済金 52,000円 歩行中に、駐車場でバックしてきた車に衝突された。 日頃から気を付けること。突然の事故は防げないけれど、支えてくれる人たちがいるから安心できます。 (大学3年生)	スポーツ中の事故 【足首、足の関節靭帯の脱臼ねんざ】 通院 17日、固定具あり 支払共済金 54,000円 グラウンドで部活動中に立ち幅跳びの着地に失敗し、足をひねった。 ケガや事故は注意していたとしても、遭ってしまうこともあります。ただ、遭ってしまったとき、共済に入っていたことでお金の心配がなくなり、少し心に余裕が生まれました。 (大学1年生)	スポーツ中の事故 【前腕の骨折】 入院3日、手術2回、通院10日、固定具あり 支払共済金 170,000円 友人とスノーボードをしに行ったスキー場で、転倒時に骨折した。 ケガは起きてしまうことなので、気にすることはないです。ただ、起きた際に手助けになるような共済に入ることは大切だと思います。 (大学4年生)

発行

日本コープ共済生活協同組合連合会

CO・OP学生総合共済(大学生協組合員用)サイト
<https://kyosai.univcoop.or.jp/>

